

平成30年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第4号（水稻）

平成30年7月30日発表
広島県西部農業技術指導所
対象期間 平成30年7月下旬～8月上旬



1			予報内容（8月上旬まで）		防除上の注意事項	
病害虫名			現況	予報		
(現況は穂いもち 葉いもち)	北部	早生	やや少	やや少	◇出穂前後の降雨により発病が助長されるので、穂いもちの発生に注意する。 ◇穂ばらみ期、穂ぞろい期の穂いもちの基幹防除を徹底する。 ◇葉いもちが多発しているほ場では直ちに粉剤、液剤で防除する。 ◇葉いもちが多発しているほ場では穂ぞろい期防除の7～10日後に追加防除を行う。	
	中部		やや少	やや少		
葉いもち	中部	中生	並	—		※中部地域とは中東部、中西部の2地域のこと。
	南部		少	—		
紋枯病	早生	やや多	—	◇分けつ数の多いほ場では、発生しやすいので注意する。 ◇要防除水準：穂ばらみ期の発病株率が早生品種では10%以上、中生品種で20%以上。 ◇昨年度、紋枯病が多かったほ場は発生に注意する。 ◇要防除水準に達したほ場では防除を徹底する。		
	中生	やや多	—			
セジロウシ			少	少	◇要防除水準： 幼穂形成期から穂ばらみ期に10頭/株以上。 ◇ほ場を見回り、要防除水準を超えていれば、防除を行う。	
斑点米カメムシ類（カスミカメムシ類、その他加害種）※		早生	—	やや多	◇早生は、出穂が早いので防除時期を逸しないようにする。 ◇出穂期近くになっての畦畔などの除草は、カメムシ類を水田内に追い込むことになる。早生では除草を控える。中生では出穂2週間前までに除草を終える。 ◇予察灯（呉市安浦町）で誘殺数が多くなっているのに注意する。 ※カスミカメムシ類はアカスジカスミカメなどの小型のカメムシ類、その他加害種はホソハリカメムシなどの大型のカメムシ類。	



○病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、広島県ホームページで閲覧できます。

広島県 植物防疫

検索

または



○お問合せ先：広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
(東広島市八本松町原 6869 tel: 082-420-9662)

(1) 葉いもち（26地点調査）

◆現況調査結果（北部：やや少，中部早生：やや少，中部中生：並，南部：少）

	北部			南部		
	早生			中生		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
発生地点率	16.7	49.7	33.3	0	55.7	40.0
平均発生程度	1.15	1.17	1.01	1.00	1.19	1.02

	中部					
	早生			中生		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
発生地点率	28.6	41.7	14.3	50.0	51.6	37.5
平均発生程度	1.02	1.12	1.07	1.22	1.17	1.19

(2) セジロウカ（26地点調査）

◆現況調査結果（少）

	本年	平年	前年
発生地点率	32.0	84.2	61.5
平均発生程度	1.08	1.61	1.12

【予察灯（呉市安浦町）での7月25日までの誘殺数累計】本年1頭，平年49.4頭，前年1頭。

(3) 斑点米カメムシ類

【予察灯（呉市安浦町）での7月第4半旬から第5半旬までの誘殺数累計（アカスジカスミカメ）】

本年 127頭，平年 42.5頭，前年 135頭。

◆牧草地すくい取り調査結果については発生予察情報第3号を参照する。

「予報」「現況」は、「多～少」の5階級に区分して発表しています。区分の方法は、原則として、過去10年の数値を発生が多かった順に並べて、相対比較しています。

「多」：1番目（最多年）と同程度以上

「やや多」：2～3番目と同程度

「平年並」：4～7番目と同程度

「やや少」：8～9番目と同程度

「少」：10番目（最少年）と同程度以下

区分	多	やや多	並	やや少	少					
順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

3

その他の病害虫の発生状況（現況調査：7月23～25日，26地点調査）

病害虫名	現況	防除上の注意事項等
ヒメトビウンカ	少	縞葉枯病を発病した株は抜き取る。
トビロウンカ	並	巡回調査では発生は認められなかった。今後の情報に注意する。
フタオビコヤガ (イネアオムシ)	やや少	穂ばらみ期防除を基本とする。
コブノメイガ	やや少	被害株率20%以上の場合防除を行う。

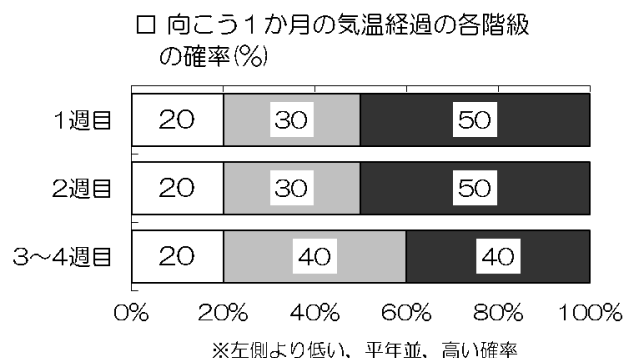
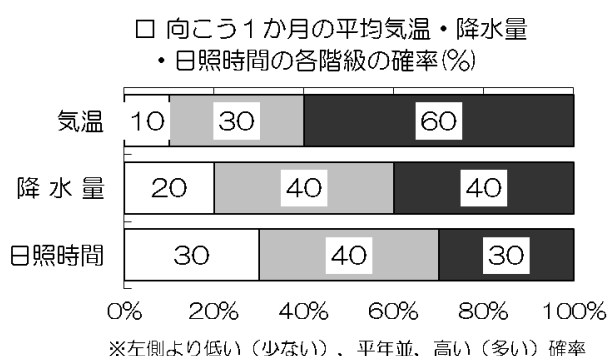
4

気象情報

中国地方1か月予報（広島地方気象台7月26日発表，7月28日から8月27日までの天候見通し）

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

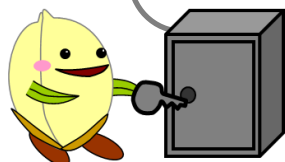
向こう1か月の平均気温は，高い確率60%です。降水量は，平年並または多い確率ともに40%です。



6月1日から8月31日まで，**農薬危害防止運動**実施中！

農薬を使う際は，容器のラベルをよく読んで，

使用方法や注意事項を守り，農薬による危害と事故を防ぎましょう。



粳之進



りもれん